



28



古文

(3)



1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

※1 御同公御秘蔵の鉢植はちうあり。坊主御掃除おさうじの節、過あまつてその枝を折る。公御覧みじて大いに御腹立ち、坊主を七ヶ日禁足きんそく仰せ付けられけり。御用人ごよにんその御叱しかりの甚はなはしく、実は過あまちなることを諫め奉りしに、公御笑わらひありて、「過あまちてなせしはよく知りたり。殊ことごとに枝一つ折おりたりとも、何程なにほどのことかあらん。しかれども、我が秘蔵ひざんすること、は、彼も知りたるに、慎おそまざる故ゆゑに過あまちもあるなり。今かく重おもく咎とがむるは、後日に再び大なる過あまちをさせまじきがためなり。彼を悪にくむにはあらず」と御意ごいありしとぞ。

(中川延良 『楽郊紀聞』)

※1 御同公 江戸時代の対馬藩主、宗義蕃のこと。

※2 坊主 主君の身の回りの仕事をする人。

※3 禁足 外出を禁じる罰。

※4 仰せ付けられけり お命じになった。

※5 御用人 主君に仕え、会計などの仕事をする人。

※6 御意ありし お言葉があった。

問一 〈文脈把握〉——線①「諫め奉りし」とありますが、御用人が公に忠告したのはなぜですか。その理由として最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

- ア 坊主の過失であることを信じていないから。



イ 坊主の過失に対して処罰が厳しすぎるから。

ウ 坊主の過失に対する責任は公のほうにあるから。

エ 坊主の過失に対して処罰がいまいだから。

問二 〈動作主〉——線②「過ちてなせし」の主語にあたる人物を文中から書き抜きなさい。

問三 〈内容吟味〉——線③「慎まざる故に過ちもあるなり」とは、どういうことですか。最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア 実力を過信したために過ちに気づかなかったということ。

イ 注意を払っていなかったために過失が生じたということ。

ウ 出しゃばったために余計なことをしてかしたということ。

エ 反省していなかったために失敗を繰り返したということ。

問四 〈心情理解〉——線④「御意ありし」とありますが、公の気持ちとして最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア 坊主に今後大きな失敗をさせたくないという気持ち。

イ 坊主を自分に完全に服従させようという気持ち。

ウ 坊主の過ちの責任を自分が負おうという気持ち。

エ 坊主の顔などもう二度と見たくないという気持ち。

( )

2 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

鼠ねずみの、女むすめをまうけて、天下にならびなき婿むこをとらんと、おほけなく思ひくはだて、日天子ひみかどこそ世を照らし給ふ徳とく、めでたけれど思ひて、朝日の出あさひの出で給ふに、「女をもちて候まをらふ。みめかたちならかに候ふ。まゐらせん。」と申すに、「我は世間を照らす徳あれども、雲くもにあひぬれば光もなくなるなり。雲くもを婿むこにとれ。」と、仰おほせられければ、誠まことにと思ひて、黒き雲の見ゆるにあひて、このよし申すに、「我は□□をもかくす徳あれども、風に吹ふきたてられぬれば、何にてもなし。風を婿むこにせよ。」と言ふ。さもと思ひて、山風の吹けるに向きて、このよし申すに、「我は雲をも吹き、草木をも吹きなびかす徳あれども、築地きづじにあひぬれば力なきなり。築地きづじを婿むこにせよ。」と言ふ。げにと思ひて、築地きづじにこのよしを言いふに、「我は風かぜにて動かぬ徳あれども、鼠ねずみに掘ほらるる時、たへがたきなり。」<sup>④</sup>と言ひければ、さては、鼠は何にもすぐれたるとて、鼠を婿むこにとりけり。  
 ※1 日天子 || 太陽。 ※2 徳 || 能力。  
 ※3 築地 || 土でつくった塀。  
 (『沙石集』)

問一 〈内容吟味〉——線①「まゐらせん」とは、どういうこと

ですか。最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

- ア 太陽に世の中を照らしてもらおうということ。
- イ 鼠のむすめの容姿をすばらしくさせようということ。
- ウ 鼠のむすめは太陽の嫁よめとしてふさわしくないということ。

工 鼠のむすめを太陽の嫁よめにしてもらおうということ。

問二 〈内容吟味〉——線②「雲を婿むこにとれ」とありますが、太陽がこう言ったのはなぜですか。次の文の□□にあてはまる言葉を文中からそれぞれ書き抜きなさい。

太陽は雲にあうと□□<sup>①</sup>

□□<sup>②</sup>が低いと考えられるから。

問三 〈文脈把握〉□□にあてはまる言葉として最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

- ア 黒き雲
- イ 山風
- ウ 日の光
- エ 草木

問四 〈動作主〉——線③「言ふ」、④「言ひければ」の主語にあたるものを次のうちから選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ア 鼠
- イ 風
- ウ 雲
- エ 築地
- オ 日天子

問五 〈主題〉この文章の主題として最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

- ア 思いがけない幸運が転がりこむこともあるということ。
- イ 幸福は身近なところにあるということ。
- ウ 人の意見に耳を貸してはいけないということ。
- エ 失敗がかえってよい結果に導くということ。

3 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

六の葦毛あしげといふ※1あがり馬ありけり。いづれの御室みむろにか※2大法だいほふをおこなはせ給たまひけるに、引き進※4ぜられにけるを、ある房官ぶぼうにたまはせてけり。※3あがり馬とも知らで乗りありきけるほどに、ある時、京へ出いでけるに、知りたる人道ひとみちにあひて、この馬を見て、いかにさしものあがり馬の名物、六の葦毛にはかく乗り給へるぞといひ※5たりけるに、臆おそして手綱たづなを強※7くひかへたりけるに、やがてあがりて投げけるに、てん逆さかさまに落ちて、頭かぶをさんざんに突※8き割りにけり。※6

をかしかりける事なり。  
（橘成季『古今著聞集』）

※1あがり馬あがりまはねあがるくせのある馬。  
 ※2御室みむろは住職。  
 ※3大法だいほふは大事な祈りの儀式。  
 ※4引き進ひきすすぜられにけるは贈り物として献上けんじょうされた。  
 ※5房官ぶぼうは寺に仕えている人。  
 ※6いかにさしものはどのようにしてまたあれほどの。  
 ※7ひかへたりけるに引くと。  
 ※8突き割りにけりはぶつけてけがをしてしまった。

問一 〈かなづかい〉 — 線①「いづれ」を現代かなづかいに改めて書きなさい。

問二 〈内容吟味〉 — 線②「たまはせてけり」とは、どういうことですか。最も適切なものを次のうちから選び、記号で答



えなさい。

ア ある房官が、六の葦毛というあがり馬を天皇に献上したということ。

イ 六の葦毛というあがり馬が、ある房官に与あたえられたということ。

ウ ある房官が、六の葦毛というあがり馬を乗り回したということ。

エ 六の葦毛というあがり馬が、ある房官によってつけられたということ。

問三 〈内容吟味〉 — 線③「あがり馬とも知らで」とは、どういうことですか。最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア あがり馬をどのようにあつかえばよいか、わからなかつたということ。

イ 自分が乗っているのがあがり馬だとは知らなかつたということ。

ウ あがり馬に乗りたいたいという希望がかなえられなかつたということ。

エ あがり馬の見分け方がわからず、途方とほうに暮くれていたということ。

問四 〈動作主〉 — 線④「京へ出でけるに」は、だれの動作ですか。文中から四字で書き抜きなさい。


問五 — 線⑤「知りたる人」について、次の(1)～(3)の問いに答







# 思考と表現

(4)

1 中学生の宮田さんのクラスでは、職場体験を終えて、各班のリーダーが感想を発表することになりました。次は、宮田さんと安井さんがそれぞれ職場体験について、班の感想を発表している場面です。発表内容を読んで、あとの問いに答えなさい。

## 【宮田さんの発表】

私たちの班は、A病院での仕事を担当しました。病院の中には、働いている方も患者の方もたくさんいて、初日と二日目はとまどってしまい、正直、苦勞ばかりで非常にすらく感じていました。

しかし、三日目ごろから苦勞が楽しさ変わったこともあり、大勢の人たちと接することにも少し慣れ、院内にある機械の種類や操作方法を覚えたり、患者の方とコミュニケーションを取ったりすることが、だんだんできるようになってきたのです。

一番印象に残っているのは、車いすの体験です。介助のお手伝いをするだけでなく、実際に自分も車いすに乗ってみて、普段利用している人たちの大変さを実感することができ、とても勉強になりました。



【宮田さん】

## 【安井さんの発表】

私たちの班は、郵便局の仕事をお手伝いしました。郵便局の仕事は思っていたほど簡単なものではなく、でした。切手一枚を売るときも、機械に打ち込んで、一円の間違まちがいもないように、会計などを出さなければいけません。

一日目、二日目は全然うまくできず、何度も失敗してしまいました。三日目ようやく慣れてきて、うまくできるようになりました。そのときの達成感は何物にも代えがたいものでした。職場体験を通して学んだ中で、最も大切だと思ったことは感謝の気持ちです。難しい仕事をやりきったあとの達成感から喜びを感じ、周囲に感謝できることは幸せなことだと思います。



【安井さん】

## 問一 【安井さんの発表】

の内容が論理的なものとなるように、にあてはまる言葉として最も適切なものを次のうちから

ら選び、記号で答えなさい。

- ア 非常に体力を使う作業
- イ 専門的な知識が必要な仕事
- ウ とても集中力のある作業
- エ 柔軟な発想力が試される仕事

( )

